**１　議題**
(1)　重点地域指定（案）について
(2)　生態系及び景観・許可基準（案）について
(3)　目標指標（案）について
(4)　清流基準（案）について

**２　審議概要**
(1)　重点地域指定（案）について
1　 共生モデル地区の候補地である梼原川流域は、川の規模や清流度、ＦＳＣの取り組み等から見ても２つの支川にあまり違いはなく、梼原地域流域全体として統一感を持つ方が良いと考えられるので、一次支川の梼原川だけでなく二次支川の四万川流域も含める。

(2)　生態系及び景観・許可基準（案）について
1　「ディスアメニティの防止」については、何がアメニティなのかといった点も含め、少し改良して細かい説明を加える。
2　公共工事を行なっていく際、生き物の移動を確保していくにはどういう工法がいいのかといった点については、環境配慮指針で検討していく。また、許可基準においては、モザイク構造の維持の部分で整理を検討する。
3　本日の議論を踏まえ修正し、原案の作成作業を進める。

(3)　目標指標（案）について
1　「天然青のり」を指標に加える。
2　 伝統漁法の中に「しばづけ漁」の実施状況も加える。
3　 指標には「物理的なものの量」と「何かの事象を表す」といった二つの意味があるので、本日出された項目も含めてこのたたき台をもとに原案を作成し、統計を取りやすいところ、統計を分解したら色々なことが解かる部分を抽出し、議論する。

(4)　清流基準（案）について
1　たたき台をもとに原案を作成する。
2　 測定地点がよく解かるように地図に落とす。
3　 水生生物については一般の人にもわかりやすいように、身近で関係する資料を作成する。

(5)その他
1　 四万十川をひとつの例にして、日本中の河川をきれいにしていくことが必要。
2　 四万十の伝統技術、四万十ならではのものを発展させて、産業を活性化さなくてはいけない。（持続的な発展、振興という面から）